



港区新橋 5-15-5 国鉄労働組合中央本部 ☎03-5403-1640 発行人 菊池忠志 編集責任者 瀧口良二 (組合員の購読料は組合費の中に含む)

6・4 財務省が森友決裁文書改ざんで幹部20人を処分、麻生財務相辞任せず △米軍オスプレイ2機が鹿児島・奄美空港に緊急着陸

6・7 社会学者の日高六郎さん死去▽認知症の疑いで75歳以上の運転免許取消し判定が約3倍に増加 6・9 東海新幹線車内で3人が刃物で切られ、1人が死亡▽G7サミットは米輸入制限を非難、トランプ大統領は首脳宣言拒否

6・12 米朝首脳が史上初会談、米は北朝鮮の体制保証と米韓合同軍事演習中止を表明、一方で完全非核化に向けた具体策示されず 6・14 山陽新幹線が北九州で人をはね、異常音感知後も運転継続▽東電が福島第2原発全4基を廃炉へ

低額回答 夏季手当1.65+0.08カ月 社員を犠牲に経営再建を図る会社

国労は闘争指示第88号を6月18日発行して、貨物会社が6月18日に行った夏季手当1・6カ月プラス0・08カ月、7月6日支払いの低額回答に対して、抗議行動を取り組んできた。1つは中で、2018年度夏季手当について、本部は、6月22日、闘いの教訓と課題を明確にした上で極めて要求とかけ離れた不満の残る回答ではあるものの整理することとした。また、6月22日「妥結にあたっての本部見解」を闘争指示第90号で発した。

2018年度夏季手当の妥結にあたっての見解(要旨)

(1) 貨物会社は6月18日、「2018年度夏季手当の支給に際して、経営課題を社員に転嫁したものでしかない。」(2) 2017年度決算は2年連続でJR発足以来最高益を確保している下で、慢性的な要員不足により、年休も消化できない現状でも日夜安全輸送に奮闘している社員と家族の期待を裏切ると回答を行った。また、「55歳に到達した社員への扱いについては従前どおり」とし、支払日は「2018年7月6日(金)」とした。席上本部は、「前年度決算及び今年度事業計画の数値、現在の収入動向等、これまでの交渉経過を踏まえれば、極めて不満な回答である」として、(1)回答は、中期経営計画・経

会社名	本年度実績	前年度実績	支払日	前年比	回答日	妥結日	特記事項
北海道	2.02ヵ月	2.02ヵ月	7月4日	同月数	6月22日	6月26日	
東日本	2.91ヵ月	2.91ヵ月	6月28日	同月数	6月12日	6月13日	
東海	3.05ヵ月	3.05ヵ月	6月29日	同月数	3月15日	3月19日	
西日本	2.92ヵ月	2.72ヵ月	6月29日	0.20ヵ月増	3月14日	3月16日	年間臨給5.66ヵ月
四国	2.34ヵ月	2.29ヵ月	7月6日	0.05ヵ月増	3月23日	3月23日	ライフプラン支援金0.4ヵ月分含む
九州	2.52ヵ月	2.52ヵ月	6月29日	同月数	3月16日	3月20日	
貨物	1.73ヵ月	1.60ヵ月	7月6日	0.13ヵ月増	6月18日	6月22日	基準額1.65+0.08ヵ月
ソフトバンク	3.90ヵ月	4.30ヵ月	6月29日	0.40ヵ月減	5月22日	6月1日	

渉は、5月14日の国労統一要求3・0カ月分の申し入れ以降、4回の交渉を積み重ねてきた。

5月16日の第1回交渉において、国労は「労働者の実質賃金は安倍首相が政権に復帰した2012年12月の年間391万円から14万円減少し、1世帯当たりの実質消費支出も360万円から340万円に減少している。

(2) 2018年度夏季手当交渉は、中期経営計画・経

(3) 今夏季手当の闘いは、8期連続となる経常黒字と17年度決算が前年度に続き、JR発足以来最高益を計上している現状で、「賃金・生活実態アンケート調査」の結果に基づく要求の正当性を明確にした宣伝行動と総対話活動を重視し、夏季手当力ベ新開8号を発行してきた。

集会は松谷事務局長の司会で始まり、主催者を代表して住野議長が挨拶をおこなった。一日目、第1講座として交通運輸政策顧問である戸崎肇首都大学東京特任教授より「交通運輸産業を取り巻く課題と展望」、第2講座として水町勇一郎東京大学社会科学研究所教授より「働き方改革のポイント対応」と題して基調講演を受けた後、高松事務局長から本集会で討議すべき内容について問題提起を受けた。

その後、交通運輸全体として取り組みを進めている「地域公共交通の維持・存続を図るための請願署名」について岡山県交通運輸協会の成田副議長より取り組みに対する御礼と協力要請について報告を聞き一日目を終えた。二日目は前日の基調講演・問題提起を基に統一テーマを「交通運輸産業における働き方改革と課題について」とし「働き方改革と労働力不足への対応について」「働き方改革と賃金・労働条件への対応について」の2分科会をそれぞれ



交通運輸協第24回交通運輸政策研究集会

交通運輸協 第24回交通運輸政策研究集会 働き方改革の魅力ある 確立にむけて

その後、全体集会を再会し分科会の報告を受け、松岡政策委員長が集会のもとと閉会挨拶を行い、最後に住野議長長の団結ガンバロウで集会を終了した。

「1・65カ月プラス0・08カ月」の回答は極めて不満の残る回答である。「中期経営計画2021」では、「鉄道事業部門の黒字化継続を掲げ、併せて「株式上場も可能な体制を作る」ことを明らかにし、その達成のために、更なる経費削減を強行しようとしている

経営課題の達成のためには人件費の削減を柱に、社員犠牲を強めることで経営再建を図る会社の姿勢を徹底して批判するとともに、労使協調組合として会社の効率化施策に追随し、低額回答に席上妥結を繰返すJR貨物労組幹部の

役割と責任も追及していかねばならない。JR体制が30年を超える中で、国労が繰り返し主張する「構造矛盾の解決なくして鉄道貨物輸送の真の発展はない」ことを改めて認識するとともに、この間、幾度にわたり提起してきた「鉄道貨物政策

夏季手当満額獲得に向けた全国からの奮闘、創意工夫した取り組みに改めて感謝しつつ「2018年度夏季手当」の妥結にあたっての本部見解とする。

2018年6月22日 国鉄労働組合

国労第87回定期全国大会 とき.. 7月26~27日 ところ.. 伊東市・ホテル聚楽

提言」に確信を持った運動の展開が重要となっている。(5) 本部は本日(6月22日)、夏季手当についての闘いの経過と課題を明らかにするもので、組合員・家族の生活等を考慮し「2018年度夏季手当」について妥結することとした。

開幕の2カ月前にハルル監督が突如解任され、西野氏が新監督に就任した。大方の予想は、予選リーグH組で敗退というもので、TV局などは盛り上げるのに苦労していた。日本代表の第1戦は6月19日にコロンビアと行われ、2対1で勝利し勝ち点3を獲得する事になり、俄然日本国内でのサッカーWカップが盛り上がりつつあった。純粋にサッカー観戦を楽しみながらも、「スポーツと政治」が脳裏をよぎる。1936年にベルリンで開催された別名「ナチ・オリンピック」では、ヒトラーがオリピックを徹底的に国威発揚、さらにはユダヤ民族に対するアリア民族優勢を示す場にしようと決意し成功させた。オリンピックの成功に自信を得たドイツは、さらに国力を高め英米仏といった列強先進国に迫りつべく、軍事力を増強し、版図拡大を目指して突き進んでいった。▼今も昔も程度の差はあれ、スポーツが政治利用されている事に違いはない。サッカーWカップに国民の関心が向いている中で、国会では6月20日に会期を迎える通常国会について、7月22日まで会期を延長し、働き方改革関連法案やカジノ実施法案の成立を目論んでいる。国会で過半数を大きく上回る与党に対抗するには、今こそ労働者・市民の結集が不可欠である。(瀧)



サッカーの4年に1度の祭典、Wカップ・ロシア大会が6月14日に開幕した。深夜の放映が多く寝不足に悩まされているサッカーファンは多いだろう。日本代表は、

オスプレイ飛ばすな!

6・5首都圏行動

戦争させない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会主催の「オスプレイ飛ばすな!6・5首都圏行動」が、6月5日に日比谷野外音楽堂にて開催され、労働者・市民3100人が参加した。

主催者を代表して、戦争をさせない1000人委員会の藤本泰成さんが、「安全性に乏しい欠陥機オスプレイが沖縄に配備され、全国を飛び回っている。沖縄に思いをはせ、いのちを守るために飛び出そう」と挨拶した。

問題提起を軍事評論家の前田哲男さんが、横田基地の歴史の意味とオスプレイ配備の意味に関して触れ、集団的自衛権の行使は認め、戦争法の成立という新たな事態の中、日本の軍事一体化がさらに進んでいる現状に警告を發した。



米軍横田基地へのオスプレイ配備反対を訴える参加者

米軍横田基地配備に反対

厚木基地爆音訴訟原告団



国会からは沖縄等米軍基地問題議員懇談会会長の近藤昭一衆議院議員、うりずんの会

の照屋寛徳衆議院議員が連帯の挨拶を行った。
ルポライターの鎌田慧さんは、「オスプレイは空飛ぶ恥といわれている。安倍政権は世界の恥だ。早く打倒しなければならぬ」と訴えた。

ピース・アクション2018

5・15沖縄平和行進・現地視察

国労青年部は、平和運動の一環として5月12、14日に「ピース・アクション2018 5・15平和行進」への参加と沖縄現地視察学習行動を取り組んだ。

現地での視察は県営平和祈念公園、ひめゆり平和祈念資料館、旧海軍司令部壕を訪れた。平和行進最終日の13日には宜野湾市役所から普天間基地を經由して、「平和とくらしを守る県民大会」の会場である宜野湾海浜公園野外劇場までデモ行進した。

今回の学習行動を通じて沖縄県内の至る所に戦争の爪痕があること、戦争で苦しんでいる人は今でもたくさん存在しているということを実感した。実際に自分の目と足を駆使して現地を視察すること

横田地元からの報告を、憲法東京共同センターの岡田尚子さん、東京平和運動センターの青木正男さん、関連報告をオスプレイ来るな いらないう住民の会の平良文雄さん、厚木基地爆音防止期成同盟の

大波修二さんが行ったあと、特別ゲストとして、韓国でバククネ(朴槿恵)前大統領を打倒する闘いを担った「朴槿恵政権退陣非常国民運動・記録記念委員会」共同代表のバク・ソグンさんが連帯の挨拶

を行った。
最後に、集会決議を採択し、デモ行進に移り、銀座から東京駅まで「オスプレイ飛ばすな!」安倍政権はただちに退陣!「みんなの力で政治を変えよう!」とアピールした。

がさらに高まった。
宜野湾市の海浜公園で開かれた平和とくらしを守る県民大会における山城博治実行委員長からの「再び戦争の道を歩んではいけない。国家の暴

力の田嶋要衆議院議員が登壇し、野党の力をあわせて、安倍政権の退陣に向け、共に闘う決意が述べられた。

9条改憲NO!

安倍政権の退陣を求める国会前集会

6・10国会前大行動実行委員会主催の「9条改憲NO!政治の腐敗と人権侵害を許さない 安倍政権の退陣を要求する国会前大行動」が雨の降りしきるなか開催され、労働者・市民2700人が参加した。

主催者を代表して、戦争をさせない1000人委員会の福山真劫さんが、「安倍政権の暴走を許せば平和と民主主義、未来が壊される。野党と市民が共闘すれば必ず安倍政権を倒すことができると挨拶した。」と挨拶した。

野党からは、立憲民主党の福山哲郎幹事長、社会民主党の吉川元衆議院議員、共産党の小池晃書記局長、無所属の

最後に、憲法共同センターの小田川義和さんが行動提起を行い雨の中の行動を終えた。



「ひめゆり学徒隊」の慰霊塔に献花



安倍政権の退陣を要求する6.10国会前行動

家族の幸せを災害から守る

火災共済 ⊕ オプション保障

火災共済の保障力を、さらにアップさせる新制度。

近隣の家へ損害を与えたときの「類焼損害保障」、日常生活での賠償事故に備える「個人賠償保障」、賃貸住宅で火事を起こした場合の「借家人賠償保障+修理費用」。火災共済とセット加入することで大型保障を実現します。

B1424401E2144-20150209

交通共済 ニュース



オプション保障(類焼損害費用保険、個人賠償責任保険、借家人賠償責任保険+修理費用)は、共済火災海上保険株式引受保険会社とする保険契約であり、共済ではありません。詳しい内容は必ずパンフレットおよび重要事項説明書をご確認ください。

みんなで暮らしをガード 交通共済 (JR職域生協) 全国交通運輸産業労働者共済生活協同組合